

年間教授計画 2024年度 (4月～2月)

科目	対象	担当	教科書	授業数	年間授業時間
AIエンジニア I 実習	クラス: 2年 A組 学科: 情報テクノロジー科 コース: AIエンジニア	山本	Python人工知能プログラミング《オブジェクト指向と関数型スタイルによるAI開発技法》	4 時間/週	120 時間

授業概要	前期では、AIの基礎をしっかりと身につけることを主眼とし、AIプログラム周辺知識と活用について調査を行いクラス内発表を行う。
最終到達目標	AIの基本的な知識を基礎として、AIの実装ができる活用能力を身につける。

月	週	単元	内容および授業方法				
前期 (4月～9月)	1	AIプログラム制作	・授業ガイダンス(講義) (★印は成績評価方法説明) ・実習環境構築(講義・実習)				
	2	AIプログラム発表	第1章 関数型スタイルと再帰処理(実習・発表)				
	3		★各人に割り当てた課題の制作物(50%)				
	4		★各人に割り当てた課題の制作物の発表内容(PPTの出来具合, 発表の出来具合で評価)(50%)				
	5		第2章 解の探索とバックトラッキング(実習・発表)				
	6						
	7		第3章 論理パズル(実習・発表)				
	8						
	9						
	10		第4章 ゲーム木理論(実習・発表)				
	11						
	12						
	13		第5章 推論と知識ベース(実習・発表)				
	14						
	15						
後期 (10月～2月)	1	AIプログラム制作	第6章 人工生命とNPC(実習・発表)				
	2	AIプログラム発表	★各人に割り当てた課題の制作物(50%)				
	3		★各人に割り当てた課題の制作物の発表内容(PPTの出来具合, 発表の出来具合で評価)(50%)				
	4		第7章 自律行動と追跡(実習・発表)				
	5						
	6						
	7		第8章 Kerasによる機械学習(実習・発表)				
	8						
	9						
	10						
	11		第9章 ディープラーニング(実習・発表)				
	12						
	13						
	14						
	15						
成績評価方法	項目 ※1	授業内試験	小テスト	課題内容	出欠状況	授業態度	その他(AI技術・制作プログラム発表)
	割合	前期		50%			50%
		後期		50%			50%
備考 ※2	なし						

※1 授業内試験:期間内の総まとめの試験/小テスト:単元ごとのテスト等/課題内容:課題提出および課題の出来具合
 その他:()に具体的内容を記載。(例)外部実習評価
 ※2 備考については、資格取得に対する加点、学習に当たっての留意事項等、上記以外の項目に記載すべきものがある場合に記入。